

# クイックスタート/ティップ&トリック

## 基本操作:

- ・ パターンの再生: Play キーを押す
- ・ ソングの再生: Song + Play (パターン・ビュー時)
- ・ メインボリュームの調節: Master キー + ジョグホイール
- ・ パターン/ソング/パフォーマンスモードで何かを編集するには > 最初に Rec を押ししてください (現在選択されているステップが赤いフレームで囲われます)。もう一度押すとエディットモードから抜けます (緑のフレームに切り替わります)。

## 重要な機能や情報:

- ・ ファームウェアアップデート手順: Config > Firmware > SD カード内のファイルを選択 > 決定。
- ・ パターンビューの表示内容切り替え: Pattern キーを押しながら Note/Ins/Fx キーのうちひとつまたはふたつを押す。
- ・ パターンアレンジメントビューは垂直または水平表示をすることができます。Config メニューからお好みの表示設定をご利用ください。
- ・ Off/Fade/Cut ステップ: ジョグホイールを左方向に完全に回しきると表示されます。
- ・ 一度に複数のパラメーターをエディット (トランスポーズ) する: ステップを選択 > パラメーターを選択 (Note/Instrument/Fx1/Fx2) > ジョグホイールを操作。
- ・ 現在選択されているすべてのステップを単一のバリューで上書きする: 複数のステップを選択 > パラメーターを選択 > グリッドパッドを使用してバリューを指定。
- ・ Copy/Paste/Del は次の場所で機能します: パターン - 選択されているすべてのステップで。ソング - slots/tracks で。サンプルローダー - samples/instruments で。
- ・ プロジェクトに加えられたすべての変更点は自動的に保存されます。
- ・ Master のページ 2/3 のトラックミキサースクリーンを表示しているときに Rec ボタンを押すと任意のトラックの名前付けをすることができます。
- ・ Tracker は 5V/1A で動作し、モバイルバッテリーからの給電でも動作しますが、最良の電源供給方法は純正の AC アダプターを使用することです。高度な電力管理機能を備えた「インテリジェント」なモバイルバッテリーや「スマート」なコンピューターに搭載されている USB ポートでさえ何かしらの問題を引き起こし Tracker の動作を不安定にさせる可能性があることに留意してください。

## サンプル、インストゥルメントについて:

- ・ サンプルレコーダーを使用してオーディオをキャプチャするには > 入力ソースの設定 > ゲインの設定 > レコーディング > クロップ (オーディオに含まれる余分な部分の削除) > instrument としてセーブ & ロード
- ・ オーディオファイルを使用するには > Sample Loader キーを押して SD カードブラウザを開きます > プロジェクトにサンプルを追加するには、左側のリストから右側のリストへとコピーしてください。次に instrument プロパティモジュールを使用してサンプルの属性などを設定していきます。
- ・ サンプルプレイバックモジュールでは、サンプルをウェーブテーブル/グラニューラシンセサイザーに変換したり、チョップするといったことができます。

- サンプルエディタモジュールでは、インストゥルメントの概要を確認したり、レンダリング可能な不可逆オーディオエフェクトを適用します。
- レコーディング時のラインインプットチャンネルの設定はステレオ(モノラルとしてレコーディングされます)、モノラル(左)、モノラル(右)のいずれかを選択可能です。この設定は Config の General 内に配置されています。
- Tracker では和音を入力しようとする多くのトラックを消費しがちです。この制限を克服するためには、選択されたステップ範囲をオーディオとして書き出すことができるレンダラーセレクションツールを利用し、レコーディングした和音をひとつのオーディオファイルにして使用してみてください。

## ステップ、パターンについて：

- ひとつのステップは、ノート、インストゥルメント、ふたつのエフェクトから構成され、色付けされた文字の行として表示されます。
- パターンモジュールを使用してシーケンサーにアクセスします > パターンナンバーとパターンレングスを設定します。
- ステップパラメーターの入力やエディットをおこなう > Rec キーを押してエディットモードに入ってください。
- ステップごとにバリューを入力していく > グリッドパッド、ジョグホイール、矢印キーを使用します。
- パターンのライブレコーディング (Rec + Play)
- ステップ内に含まれる編集内容を切り替えるには色がついた 4 つのファンクションキーを使用します。
- Fill ツールを利用することでトラックに音楽的なステップを自動入力することができます。
- Step 機能はステップ入力時の間隔を設定します。
- FX ボタンのいずれかを押し続けると、利用可能なステップ FX のリストを表示します。Description screen ボタンを押すと、現在選択されているステップ FX の詳細情報が展開されます。
- Arp ステップ FX を利用するには Chord step FX と組み合わせて使用する必要があります。
- 各ステップは、内蔵のサンプルベースのインストゥルメント、または外部 MIDI 機器を演奏することができます。

## パターン、ソングについて：

- Song キーを押してください。 > Add/del の操作でアレンジメントのためのパターンを並べていきます。 > Play Song でソングが再生されます。
- ソングをオーディオとしてレンダリング > File にアクセス > Export > レンダリングしたいものを選択し、実行してください。

## パターン、パフォーマンスについて

- Perform キーで、トラック、パターン、ソングをリアルタイムに「演奏」することができるパフォーマンスモードに入ります。
- パフォーマンスモードはソング全体で機能します。パフォーマンススクリーンでの Shift + Play の操作、ソング内の Loop Pattern / Continue Song 機能のショートカットとして機能するため、ソングの再生を停止することなくソング全体のループ / ソング内の特定のパターンのみのループを切り替えることができます。
- 最大で 12 のパンチインエフェクトを同時にカスタマイズして使用することができます : 編集モードをオンにしてください > グリッドパッドに対応するエフェクトを選択してください (1 番目の行はデフォルトでオフとなっており、残りの 3 つはユーザー定義可能です)。 > 1 - 8 のスクリーンボタンを使用して、エフェクトの効果を受けるトラックを選択します。 > エフェクトにタイプするパッドの行に任意のバリューを設定し、使用します。

- 選択されたトラックに別のパターンから呼び出したトラックを借用することができます。スクリーン下のボタン + up/down 矢印キーを操作して様々なパターンからトラックを借用してリミックスしていくことができます。
- パターンスクリーンでは、Shift + 1-8 スクリーンボタンの操作でそれぞれのトラックをミュートすることができます。マスターセクションでは、ミュート機能に加えて、ソロ機能や可視化されトラックボリュームを利用することができます。

#### 重要なショートカット操作：

- テンポ：Song キー + ジョグホイール
- パターンライブレコーディング：Rec + Play
- パターンモードで、選択されているトラックのライブレコーディングの可否を設定する (Arm): Shift + Rec。
- パターンの一番上のステップに移動する：Shift + Insert(Home) (エディットモード時 (Rec がオンのとき))
- ひとつ以上のステップやトラックを選択する > Shift + 矢印キー (ソングモードのクリップでも機能します)。
- トラックのすべてのステップを選択する：シーケンスの一番上のステップが選択されている状態で Shift + Up 矢印キー (再度 Shift + up を押すとすべてのトラックのすべてのステップが選択されます)。
- Home (Shift + Insert) ショートカットをソングモードでおこなうとすぐさまソングの先頭に戻ることができます。
- パターン全体のコピー&ペースト：エディットモード (Rec がオンの状態) で Pattern キー (カラーキーの右側) を押したまま + Copy > 新しいパターンに移動して、Pattern キーを押しながら + Paste (Shift + Copy)。
- Shift + Play のショートカットをパフォーマンスモードで使用すると再生を停止することなく任意のパターンだけをループさせることができます。

#### MIDI I/O レーテンシー補整：

- Config メニュー内の Clock sync delay で入力される MIDI クロックに対するレーテンシーを補整することができます。この設定は MIDI Input ジャックおよび USB で "Clock in" に設定されているときに適用されます。
- MIDIOutput のレーテンシー補整は、MIDI Instrument Parameter スクリーンの Offset パラメーターからおこないます。

